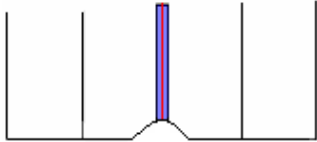




(17) 楕円の中央が広く（高く）なる。

食事をすると楕円の形が変形した。

鏡を見ながら自分でやすりを使用して楕円を深く削り音色の変化を調べた。



結果

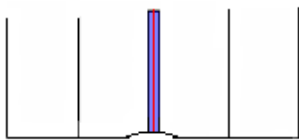
楕円の中央が広い（高い）と、音色はこもり、中音域で鳴りの悪い所があった。

楕円の高さと幅が音色に大きく影響した。

歯全体の形や口腔の広さや形で、最適な楕円の大きさと形が決まるようにも思えた。

楕円の高さを低くし、きれいな楕円に作り直していただいた。

楽器を吹きながら曲線を描がくように両サイドの歯も含め削った。



結果

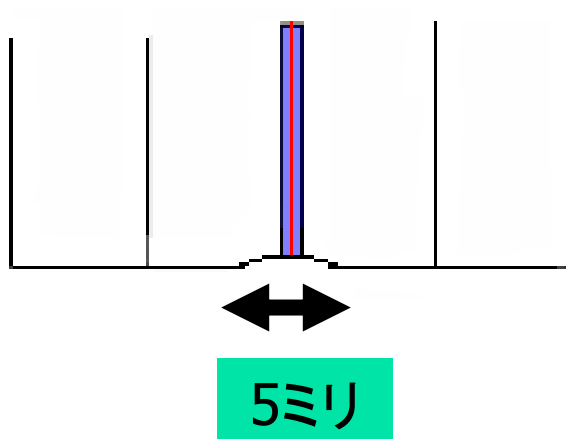
楕円の形は木管楽器のリードを削るような細かい作業が必要であり、治療室で楽器を吹きながら調整して頂いた。

B音（1点変口）より上になると、目では判断できない0.01ミリ単位の調整が必要であり、偶然良い結果が出るよう繰り返し調整して頂いた。

その結果、同じ吹き方をしても、隙間の違いでD音（二点二）・Es音・F音とハイトーンが出たり出なかったりした。



楕円の幅

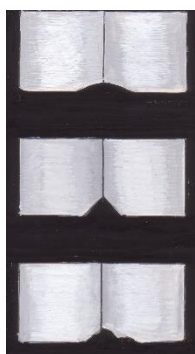


私の場合は5ミリ位がベストの状態であった。



食事をすると歯が変形するので、半年位は前歯を使用しなかった。
その結果、脳に変化が起こり、体調さえ変わるように思えた。
前歯を使うことは、脳にかなり影響があると思えた。

例



理想形 (力を抜いた状態で広い音域が出る。音色も良い。)

一般的 (練習で上手になる。)

悪い形 (普通に吹くと雑音が入る。工夫が必要。)

歯の形の変化



平成 4 年



平成 9 年



平成 17 年



平成 24 年



平成 29 年 9 月

歯の治療後の唇の状態は、振動する場所が変わるため、元のように振動するために、最低 3 か月位は必要であり、半年位経つと違和感がなくなった。この期間は練習量と年齢で変化すると考えられる。

トロンボーンを吹く前は、上歯が少し前に出ていたが、長い間に内側に変形した。

平成 29 年の状態は、数年治療してないので変形している。そのまま吹くと G 音で雑音が入る。

同じ歯でも唇の使い方で次のように変わる



数年間治療をしていないので美しい楕円ではないが、アンブシュアの調整で楕円に近い形を作ることができる。

次回はアパチャーと歯の位置について。